



赤ちゃんの写真★大募集★
(令和7年7月生まれ)

スマホで便利な「やまなしくらしねっと」で応募できるようになりました！郵送や持参の場合は、写真(裏に氏名を記載)と住所、氏名、ふりがな、生年月日、電話番号を書いたメモを〒400-8585 甲府市役所情報発信課まで。



6月19日(金) 必着!!

7月号からは…

- ・赤ちゃんの写真
- ・名前 (下の名前のみ)
- ・地域

を掲載します



まちの宝を
次代へつなごう
甲府遺産

おたうえしんじ
住吉神社の御田植神事

(甲府市住吉一丁目)

毎年夏頃に行われる「御田植神事」は、日本神話に由来する「齋庭の稲穂の神勅」に基づき、天照大御神から授けられた稲穂をもとに、豊作を祈り田植えを行う伝統行事。お米を神聖なものとして大切にしてきた日本の農耕文化を今に伝えるものであり、文禄年間(1593年頃)に現在地へ遷座して以来、御祭神・息長足姫命にちなみ、夏季例大祭の中で受け継がれてきました。

7地区(約8,000戸)の地域住民により支えられ、小・中学生が早乙女として田植えを奉仕。日本語学校の留学生の参加や、地元高校合唱部による「御田植歌」の奉納など、多様な世代・立場の人々が関わる点も大きな特徴です。

境内には水田が残されており、神事(無形)と田(有形)が一体となった貴重な文化遺産となっています。市街地化が進む中、かつての農村の記憶を今に伝え、地域ぐるみの取り組みや、若い世代への継承活動が評価され、無形民俗文化財としての価値も高く、市を代表する伝統行事として認定されました。

今年の夏季例大祭は、6月12日(金)・13日(土)に開催します



◆地域のお宝「甲府遺産」を募集します◆

☎(甲)歴史文化財課…☎055(223)7324

地域で受け継がれている未指定の文化財を「甲府遺産」として認定し、保存と活用を推進していきます。

【対象】日常的に保存・活用する個人または団体がある未指定の文化財

【申請者の資格】所有者、管理者、文化財保存活用団体

【募集期間】6月22日(月)～7月24日(金)

※詳しくは市ホームページをご覧ください



サッカーでワクワクを届ける！生粋の甲府市民

いちのせたいしゅ 選手(DF⑤)～



サッカーとの出会いは、子どもの頃よくVFKの練習を見学に行ったことで、スクールへ入団したのが始まりです。小瀬でVFKの試合を見て「かっこいい。あんなに熱い応援の中でプレーしたい」という憧れからプロになる事を決意しました。僕にとってサッカーは「夢中になれるもの」。試合前には自身の活躍をイメージし、モチベーションを高めてピッチへ向かっています。「こいつがいれば安心だ!」と思ってもらえ、応援したくなるような選手になれるよう頑張ります!

甲府は、まち全体がヴァンフォーレを応援してくれていると感じられます。応援して良かった、ワクワクするなどと思ってもらえる試合を見せたいです!



▲みはらし広場から望む甲府盆地 (一瀬選手撮影)

【プロフィール】甲府市出身。186cm、79kg、O型。在籍3年目(アカデミーからは6年目)。座右の銘は「3秒ルール」。休日は景色の良い場所までドライブやカフェ巡りをしています。小江戸甲府花小路はまだ行ったことがないので行ってみたいです。

5月6日(水・振)に
市民無料招待試合が行われました!

ゴールデンウィーク最終日、1万人を超えるサポーターが大集結! 甲府市出身選手も活躍中。これからもVFKを応援しよう!



編集後記 表紙は市国際交流員のファニーさん。この赤レンガに見覚えありますか?(ヒントはこうふ亀屋座・小江戸甲府花小路の周辺★)今回は、甲府のまちなかで撮影を行いました。市内にはまだまだ素敵な場所がたくさん! 皆さんもお気に入りの場所を見つけてくださいね!